

## 充実した図書館



震災で本校大黒町校舎が大きく損傷し、大変危険な状態となっていました。震災後は、頻繁に余震が続きました。

そのような状態でも、校舎内には教材教具、文書が残されたままでした。校舎内から体育館への荷物の運び出しは大変であったと聞いています。余震のたびに中断し、校舎外に避難しながらの危険で厳しい運び出し作業であったようです。まずは作業者の身の安全が第一でした。損傷している物品も

多く、ていねいな取り扱いができるような状況ではなかったようです。

そして、とりあえずは体育館に移したものの、まず第一に考えるべきことは、一中や二小での教育活動を軌道に乗せることだったと思われま

す。市内の小学校にも、須一小では十分な施設、教材教具がそろわない状態の中、教職員、教育委員会、保護者の皆さんの力で、1つ1つ教育を進めている姿が伝わっていました。

図書館の本は、震災で大きく損傷した上、そのような状況でしたから運び出しにも保管にも配慮できませんでした。子どもたちの利用に耐えられる一部の本のみを仮設校舎の図書館に運び入れ、現在活用しています。運び入れた本は一部に過ぎません。

多くの本は損傷を受け、活用することができなくなってしまいました。改築され、図書館も新設されますが、十分な本の冊数はありません。冊数が足りません。大変困って

おりました。ありがたいことに須賀川市が校舎改築に合わせて十分な図書が購入できるよう予算を計上してくださいました。さっそく準備し、図書館が充実できるようにいたします。

たくさん新しい本がそろい、子どもたちは大いに喜ぶと思われま

## 「空の走者たち」

桜水だよりNo.129でご紹介しました、小説「空の走者たち」は、大黒町新校舎図書館完成を待たずに20冊購入し、現在の図書館や上学年の学級文庫に備えました。

ご紹介しましたように、旭ヶ丘公園、須賀川市役所、須賀川アリーナ、十念寺、影沼橋など本校の子どもたちの慣れ親しんでいる場所がふんだんに取り上げられている作品です。作品には、そこに住む子どもたちも登場します。多くは本校の子どもたちであるはず

です。高学年でないと難しい作品ですが、多くの子どもたちに親しんでほしいと思っています。そして、「二人の円谷」である、円谷幸吉さん、円谷英二さんにあらためて興味を持ってほしい

